

神田外語大学 留学生別科

2023年 春学期

科目概要

【必修科目】



目次

◆インターアクション

(レベル1, 2, 3, 4, 5, 6, 7)・・・1～14ページ

◆文法

(レベル1, 2, 3)・・・15～17ページ

◆文法読解

(レベル4, 5, 6)・・・18～23ページ

◆読解作文

(レベル1, 2, 3)・・・24～29ページ

◆アカデミックジャパニーズ

(レベル4, 5, 6, 7)・・・30～37ページ

◆語彙漢字

(レベル1, 2, 3, 4, 5, 6)・・・38～48ページ

インターアクション1	加藤 林太郎	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		火曜日・金曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90分×週2回×15週)

授業概要

インターアクションは学習者が遭遇するであろう日本語話者との接触場面で必要とされる、「言語能力」、「社会言語能力」、「社会文化能力」などを身につけ、場面に適した日本語の運用ができるようになることを目指したコースです。授業では、日本語を使ったインターアクションのための「理解」、「準備」と「練習」に加え、「実際使用」を促す日本語話者とのアクティビティ(パフォーマンス・アクティビティ/PA)も取り入れます。

本クラスは、入門レベルの学生を対象とします。

学習内容(予定)

1. Making friends
2. Going out to eat
3. Make a Japanese Dictionary
4. Give a presentation about travel

教科書

『NIHONGO ACTIVE TALK』アスク出版

成績評価

授業参加度 20%

パフォーマンス・アクティビティ(PA) 40%

課題 40%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

インターアクション2	高橋 亘	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		火曜日・金曜日1限 (人数により火曜日・金曜日2限のクラスを開講する)

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90分×週2回×15週)

授業概要

インターアクションは学習者が遭遇するであろう日本語話者との接触場面で必要とされる、「言語能力」、「社会言語能力」、「社会文化能力」などを身につけ、場面に適した日本語の運用ができるようになることを目指したコースです。授業では、日本語を使ったインターアクションのための「理解」、「準備」と「練習」に加え、「実際使用」を促す日本語話者とのアクティビティ(パフォーマンス・アクティビティ/PA)も取り入れます。

本クラスは、初級を1/3程度終了したレベル(N5程度)の日本語能力を持つ学生を対象とします。日本語母語話者と交流することに慣れ、日常生活や大学生活における簡単なインターアクションができるようになることを目指します。授業では、これまで学習した文法が、いつどのような文脈で使えるかについて一緒に考えます。また、ペアワークやグループワークでの練習を多く行います。さらに、母語話者とのインターアクションを通して、自身のパフォーマンスをふりかえり、より実践的な能力を身につけます。

学習内容(予定)

1. 簡単なEメールを書く
2. 趣味や好きな食べものなどについて、日本の大学生と会話する
3. 日本の大学生にインタビューする(例:おすすめの場所を聞く/若者言葉を聞く)

4. お世話になった人にお礼を言う

※授業内容は受講人数等により変更される可能性があります。

授業は、学習内容のまとめとして行われるパフォーマンス・アクティビティ(PA)を目標に行われます。文型を使った会話練習も行いますが、同時にPAに便利な新しい表現や会話の戦略も学習します。練習はクラスメイトと一緒にいきますので、授業活動への積極的な参加を望みます。

PAでは、授業担当者が設定した目標のほか、履修者にとってやりがいのあるゴールを設定してもらいます。PAの間に履修者が録音／記録したデータを聞き直したり見直したりして、できたこと、できなかったことなどについて、詳しくふりかえりを行います。なお、録音・記録媒体やふりかえりシートは、提出してもらい授業担当者がチェックします。

教材

オリジナル教材

成績評価

授業参加度 20%

パフォーマンス・アクティビティ(PA) 40%

課題 40%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

授業には、Googleドキュメントやスプレッドシートが編集できるPCやタブレットを持参してください。

インターアクション3	和氣 圭子	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		火曜日・金曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90分×週2回×15週)

授業概要

インターアクションは学習者が遭遇するであろう日本語話者との接触場面で必要とされる、「言語能力」、「社会言語能力」、「社会文化能力」などを身につけ、場面に適した日本語の運用ができるようになることを目指したコースです。授業では、日本語を使ったインターアクションのための「理解」、「準備」と「練習」に加え、「実際使用」を促す日本語話者とのアクティビティ(パフォーマンス・アクティビティ/ PA)も取り入れます。

本クラスは、初級前半終了レベル(N5～N4程度)の日本語能力を持つ学生を対象とします。初級で学習する言語知識を使って、自分のことや身近な社会、自国の文化的な話題について、情報や意見を交換したり、気持ちを伝えたり、相手のサポートを得ながら、ある程度まとまった内容が表現できるようになることを目指します。

学期中、3～4つのトピックを扱う予定です。各トピックは日本語話者との実際のやりとりを行うパフォーマンスアクティビティ(PA)を目標に行われます。授業には、学生同士の活動が多数組み込まれているので、各人の積極的な参加が望まれます。毎回、PAの後で振り返りを行い、学習成果や今後の課題について考えます。評価は、授業への参加度、課題、PA、振り返りなどから総合的に判断されます。

尚、授業内容は、参加人数などによって、変更の可能性があります。

学習内容(予定)

1. 私のこと(自己紹介する)

初めて会う相手に自己紹介をして、自分の大学や身の回りのことなどについて話します。また、相手からも情報を引き出し、友だち作りのきっかけづくりを学びます。

2. 私とあなた(おしゃべりする)

同年代の学生と趣味や普段の生活のことなどについてカジュアルにおしゃべりします。互いの共通点や相違点、身近なコミュニティで話題になっていることなどについて情報交換をします。

3. 私と世界(相談する・発表する)

自分の国の魅力について調べて発表します。相手からのサポートを引き出し、より良い発表を目指します。

4. 文字でつなぐ(メッセージを書く)

EメールやSNSなどを使って、日本語のメッセージを書いて送ります。カジュアルな表現やフォーマルなEメールの構成、慣用表現などを学びます。

教材

オリジナル教材

成績評価

授業参加度 20%

パフォーマンス・アクティビティ(PA) 40%

課題 40%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

インターアクション4	上原 由美子	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		火曜日・金曜日1限 (人数により火曜日・金曜日2限のクラスを開講する)

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90分×週2回×15週)

授業概要

インターアクションは学習者が遭遇するであろう日本語話者との接触場面で必要とされる、「言語能力」、「社会言語能力」、「社会文化能力」などを身につけ、場面に適した日本語の運用ができるようになることを目指したコースです。授業では、日本語を使ったインターアクションのための「理解」、「準備」と「練習」に加え、「実際使用」を促す日本語話者とのアクティビティ(パフォーマンス・アクティビティ/ PA)も取り入れます。

本コースは、初級終了レベル(N4～N3程度)の学生を対象とします。日常生活や大学生活などの身近な話題について、相手の話を聞いたり、ある程度まとまった考えや自分の気持ちを伝えたりしながら、やや長いやりとりができるようになることを目指します。社会や文化、将来のキャリアなどのやや抽象的な話題について考え、資料を作って発表し、自分の意見を伝える活動も行います。初めて会う人や先生などに対するフォーマルな表現や、友だちや親しい人に対するカジュアルな表現など、相手や場面に応じたさまざまなスタイルの日本語や、自分が言いたいことを伝えたりコミュニケーションを円滑に進めたりするためのストラテジーなども学習します。また、クラスメイトたちや日本の学生、留学生の先輩など、さまざまな人たちとの活動を通し、社会や文化について考え、理解を深めます。

学習内容(予定)

2～3週間で一つのトピックを学習します。まずそのトピックについて知っていることなどをクラスで話しあったあと、PAに必要な知識やスキルを学習し、自分の興味に応じてPAの内容を決めて準備し、神田外語大学の学生などのビジターと実際場面を経験するパフォーマンスアクティビティ(PA)をします。PAには、ディスカッションや発表、会話、インタビューなどが含まれます。PAのあとで、自分の学習の成果や過程を振り返ります。

◆トピック

1. 自分の町や専攻、大学について紹介し合う。
2. 大学や職場に丁寧なメールを書く。
3. 日本について興味があることを調べ、インタビューし、結果を発表する。
4. おしゃべりやSNSで友だちと仲良くなる。
5. グループで協力して、社会を良くする新しいアプリを考えて発表する。
6. 留学生の先輩にいろいろな話を聞く。

(※上の内容は少し変わるかもしれません)

教材

オリジナル教材

成績評価

授業参加度 20%

パフォーマンス・アクティビティ(PA) 40%

課題 40%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

インターアクション5	瀬戸 彩子	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		火曜日・金曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90分×週2回×15週)

授業概要

インターアクションは学習者が遭遇するであろう日本語話者との接触場面で必要とされる、「言語能力」、「社会言語能力」、「社会文化能力」などを身につけ、場面に適した日本語の運用ができるようになることを目指したコースです。授業では、日本語を使ったインターアクションのための「理解」、「準備」と「練習」に加え、「実際使用」を促す日本語話者とのアクティビティ(パフォーマンス・アクティビティ/PA)も取り入れます。

本クラスは、中級前半終了レベル(N3～N2程度)の日本語能力を持つ学生を対象とします。学習者が日常生活や大学生活で遭遇する場面でのインターアクションを経験し、言いたいことが日本語でできるだけ伝えられるようにします。具体的には、身近な話題や個人的な興味に関する内容の会話を長く続けたり、集めた情報をもとに事実を報告し自分の考えを話したり、社会や文化などの少し抽象的な話題の会話で理由とともに意見を伝えられるようになることを目指します。

学習内容(予定)

いろいろな人のおしゃべり: 実際に、日本の大学生や、地域の年配の方と日本語で話す。

話し合い: イベントの企画・実施のために、話し合ったり、メモをとったりする。

ディベート: クラスメイトとグループになって、他グループとディベートのゲームをする。

授業で行う活動

- アウトプット
クラスメイトの前で自分の経験や考えを日本語で話す。
ペア・グループで意見交換する。
アイデアのブレーストーミング。
メモを書く。
- PA(各プロジェクトの最後に行うアクティビティ)
自分のパフォーマンスを録音・録画する。
あとで録音を聞いて、あるいは録画を見て、自分のよかった部分などを探す。

教材

オリジナル教材

成績評価

授業参加度 20%

パフォーマンス・アクティビティ(PA) 40%

課題 40%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

授業には、必ず自分のノートPCかタブレットなどのデバイスを持ってきてください。

インターアクション6	藤岡 亮子	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		火曜日・金曜日1限 (人数により火曜日・金曜日2限のクラスを開講する)

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90分×週2回×15週)

授業概要

インターアクションは学習者が遭遇するであろう日本語話者との接触場面で必要とされる、「言語能力」、「社会言語能力」、「社会文化能力」などを身につけ、場面に適した日本語の運用ができるようになることを目指したコースです。授業では、日本語を使ったインターアクションのための「理解」、「準備」と「練習」に加え、「実際使用」を促す日本語話者とのアクティビティ(パフォーマンス・アクティビティ/PA)も取り入れます。

本クラスは、日本語中級終了レベル(N2～N1程度)の学生を対象とします。

到達目標:

- 中上級レベルの言葉や表現・発音を正しく理解して使い、相手の言いたい事を理解することができる<言語能力>
- 目的や場面、相手に応じた言葉遣いについて考え、運用することができる
<社会言語能力>
- 適切に場面に参加し、行動できる力を身につける<社会文化能力>

学習内容(予定)

以下のようなトピックについて、場面や目的、相手との関係に合ったコミュニケーションについて考え、実際に近い場面でやってみて、最後にふり返りを行う。これらを繰り返し行い、学習した事と自身の生活とをつなげていく。

<トピックの例>

- 1.交流会を企画して会話を楽しもう
- 2.自国の事を紹介しよう
- 3.社会問題解決のためのアクションプランを考えよう
- 4.仕事やキャリアについて色々な人の意見を聞いてみよう

教材

オリジナル教材

成績評価

授業参加度 20%

パフォーマンス・アクティビティ(PA) 40%

課題 40%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

インターアクション7	李 榮	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		火曜日・金曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90分×週2回×15週)

授業概要

インターアクションは学習者が遭遇するであろう日本語話者との接触場面で必要とされる、「言語能力」、「社会言語能力」、「社会文化能力」などを身につけ、場面に適した日本語の運用ができるようになることを目指したコースです。授業では、日本語を使ったインターアクションのための「理解」、「準備」と「練習」に加え、「実際使用」を促す日本語話者とのアクティビティ(パフォーマンス・アクティビティ/ PA)も取り入れます。

本クラスは、上級レベル(N1程度)の日本語能力を持つ学生を対象とします。他の日本語話者と出会うさまざまな場面を想定し、日本語によるコミュニケーション能力を高めるための活動を重ねていくことで、今の段階の「できる・できない」を確認します。そして、各活動の後、自分自身のパフォーマンスを振り返り、よかったところや今後の課題について考えることで、「自立/自律した日本語話者」として成長することを目標とします。

学習内容(予定)

日本語によるコミュニケーション能力だけでなく、批判的・創造的思考力、協働性・主体性・自律性の向上も期待できる活動を4～5つ行います。活動形式は、プレゼンテーション、PR、スピーチ、ディスカッション、インタビュー、スモールトークなどを予定しています。また、各活動には、日本の大学生や社会人、留学生の先輩にも参加してもらい、多様な形でフィードバックを受けます。

教材

オリジナル教材

成績評価

授業参加度 20%

パフォーマンス・アクティビティ(PA) 40%

課題 40%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。

文法1	高橋 亘	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日・木曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90分×週2回×15週)

授業概要

文法では、教材を使って体系的に文型を学習し、インターアクションに必要な「言語能力」の習得を目指します。文法の知識だけでなく、運用能力も伸ばすことを目的とします。

学習内容(予定)

教材の第1課～第8課を中心に学習します。

教科書

『大学の日本語 初級 ともだち Vol.1』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著
東京外国語大学出版会

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 30%

課題 20%

定期テスト(中間・期末) 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守る。遅れた場合は減点の対象となります。

単語クイズで扱う語彙リストの予習を必ずしてくる。教室にPCを持参すること。

文法2	和氣 圭子	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日・木曜日1限 (人数により月曜日・木曜日2限のクラスを開講する)

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90分×週2回×15週)

授業概要

文法では、教材を使って体系的に文型を学習し、インターアクションに必要な「言語能力」の習得を目指します。文法の知識だけでなく、運用能力も伸ばすことを目的とします。

学習内容(予定)

教材の6課から13課を学習する予定です。

教科書

『初級日本語 新装改訂版 上』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著 凡人社

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 30%

課題 20%

定期テスト(中間・期末) 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守る。遅れた場合は減点の対象となります。

文法3	瀬戸 彩子	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日・木曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90分×週2回×15週)

授業概要

文法では、教材を使って体系的に文型を学習し、インターアクションに必要な「言語能力」の習得を目指します。文法の知識だけでなく、運用能力も伸ばすことを目的とします。

学習内容(予定)

教材の16課から25課を学習する予定です。

教科書

『初級日本語 新装改訂版 下』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著 凡人社

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 30%

課題 20%

定期テスト(中間・期末) 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

文法読解4	加藤 林太郎	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日・木曜日1限 (人数により月曜日・木曜日2限のクラスを開講する)

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90分×週2回×15週)

授業概要

文法読解では、日本語の文型や文法、表現を、教材を使って体系的に学習します。具体的には、既習の語彙や文型、表現を確実に使えるようになるとともに、教材の中に出てくる新しい語彙や文型、表現を理解し、会話や作文で使用できるようになることを目指します。また、教材の読み物の読解を通して、日本社会の文化や思想、習慣、歴史などについての理解も深めます。

学習内容(予定)

・文法

中級前半レベルの文型やことばを学んで、初級よりも幅広い話題や内容についての確に表現できるようになることを目指します。

・読解

教科書の文章を基に、日本社会の文化や習慣などを学び、それを他の人に伝えられるようになることを目指します。

・課題

文法で学んだ表現と、読解で学んだ内容を組み合わせて、作文を書きます。

教科書

『中級日本語 新装改訂版 上』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著 凡人社

成績評価

授業参加度 30%

クイズ 35%

定期テスト(中間・期末) 35%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

授業には必ずノートPCかタブレットを持ってきてください。

文法読解5	藤岡 亮子	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日・木曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90分×週2回×15週)

授業概要

文法読解では、日本語の文型や文法、表現を、教材を使って体系的に学習します。具体的には、既習の語彙や文型、表現を確実に使えるようになるとともに、教材の中に出てくる新しい語彙や文型、表現を理解し、会話や作文で使用できるようになることを目指します。また、教材の読み物の読解を通して、日本社会の文化や思想、習慣、歴史などについての理解も深めます。

学習内容(予定)

●読解:日本人の生活や文化、現代の社会や科学に関する評論や新聞記事、国語の教科書などを読んで、話の流れや著者の考えを理解する。また、文章を読んで、考えたり意見を言ったり書いたり討論したりする。

例)「身振りと言語」、「抗議する義務」、「テレビ映像の伝えるもの」、「練習と人生」、「騒音問題」など

●文法:中級後半レベル(N2レベル)の文法の中から、重要なものを学習する。

文型練習は短文作成にとどまらず、短い会話やアンケート、広告などを作成する。

教科書

『中級日本語 新装改訂版 下』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著 凡人社

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 30%

課題 20%

定期テスト(中間・期末) 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

文法読解6	李 榮	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日・木曜日1限 (人数により月曜日・木曜日2限のクラスを開講する)

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90分×週2回×15週)

授業概要

文法読解では、日本語の文型や文法、表現を、教材を使って体系的に学習します。具体的には、既習の語彙や文型、表現を確実に使えるようになるとともに、教材の中に出てくる新しい語彙や文型、表現を理解し、会話や作文で使用できるようになることを目指します。また、教材の読み物の読解を通して、日本社会の文化や思想、習慣、歴史などについての理解も深めます。

学習内容(予定)

上級レベルで求められる知識の定着を目標として、教材の以下の課を勉強します。

- 第1課:「人は何のために生きるのか」
- 第2課:「私の読書術」「会えないけど長続きする人がいる」
- 第3課:「機械との共存」
- 第4課:「創造する人」
- 第5課:「地球環境問題 熱帯雨林の減少と砂漠化」

教科書

『上級日本語』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著 凡人社

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 30%

課題 20%

定期テスト(中間・期末) 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。

読解作文1	高橋 亘	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90分×週1回×15週)

授業概要

読解作文は、読み書きの能力を伸ばすことを目的とします。具体的には、読むこと、書くことを通じて、文型、語彙、表現の運用力を高め、適切な書きことばを身につけることを目指します。

学習内容(予定)

読解では、身近なトピックの短い文章を読みます。

作文では、日常生活や身の回りのことに関する短い文章を書きます。

例: 自己紹介、私の好きな町、私の部屋、毎日の生活、休みの日、私の友だち

※授業内容は変更する可能性があります。

教材

授業で配布、紹介します。

成績評価

授業参加度 20%

課題 50%

定期テスト 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守る。遅れた場合は減点の対象となります。

日本語が入力できるPCかタブレットを持参してください。

読解作文2	李 榮	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日3限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90分×週1回×15週)

授業概要

読解作文は、読み書きの能力を伸ばすことを目的とします。具体的には、読むこと、書くことを通じて、文型、語彙、表現の運用力を高め、適切な書きことばを身につけることを目指します。

学習内容(予定)

書かれている内容が正しく理解できるようになることを目標として、初級レベルのさまざまなタイプの読み物を読みます。そして、読んだものから得た知識を用いて、まとまりのある文章を書く練習をします。読み物や作文のトピックは、例えば「私の一日」「毎日の食事」「観光地の紹介」「祭りの楽しみ方」「SNSの使い方」などを扱います。

教材

授業で配布、紹介します。

※参考書

『1日10分 初級からはじめる読解120』ヒューマンアカデミー日本語学校著 アスク

成績評価

授業参加度 20%

課題 50%

定期テスト(中間・期末) 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。

読解作文3	藤岡 亮子	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日3限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90分×週1回×15週)

授業概要

読解作文は、読み書きの能力を伸ばすことを目的とします。具体的には、読むこと、書くことを通じて、文型、語彙、表現の運用力を高め、適切な書きことばを身につけることを目指します。

到達目標

【読む】やさしい言葉で書かれた、身近なトピックや日本の文化についての文章を読むことができるようになる。

【書く】身近なトピックについて、構成を考えて簡単な説明文を書くことができるようになる(400-600字)。自分の経験について、感想・意見を加えて書くことができるようになる。

学習内容(予定)

【読む】ロボット、おぼんの行事、地震、贈り物、私の町、メールなど

【書く】私の大学生活、私の国の行事、私の好きな町、メッセージなど

教科書

『初級日本語 下』読み物 ※文法3と同じ教科書を使います

成績評価

授業参加度 20%

課題 50%

定期テスト 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

アカデミック ジャパニーズ4	和氣 圭子	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日3限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90分×週1回×15週)

授業概要

アカデミックジャパニーズでは、大学での学習や研究に必要な日本語力のうち、主に「読んで書く」ことを中心に学習します。さまざまな資料を読み、書く練習を通じて、書き言葉の文体、表現、文章構成等を学び、適切なレポート等が書けるようになることを目指します。必要に応じて、「話す」「聞く」の活動も含まれます。

学習内容(予定)

作文やレポートを書くために必要な表現やルールを学習します。

エッセイや説明文、意見文、資料などを読み、ディスカッションを通して内容理解を深め、テーマに関する自分の意見を明確にします。読み物を通して得た知識を参考に、説明文や意見文を書きます。また興味のあるテーマについて自分で調べた資料を使って短い報告文を書き発表します。

教材

授業で配布、紹介します。

※参考書

杉浦千里・木戸光子『おしゃべりしながら書くことを楽しむ中級作文』凡人社

成績評価

授業参加度 20%

課題シート(表現練習、ミニ作文、作文) 50%

課題作文 (説明文、意見文、レポート) 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

アカデミック ジャパニーズ5	小林 久美子	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日3限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90分×週1回×15週)

授業概要

アカデミックジャパニーズでは、大学での学習や研究に必要な日本語力のうち、主に「読んで書く」ことを中心に学習します。さまざまな資料を読み、書く練習を通じて、書き言葉の文体、表現、文章構成等を学び、適切なレポート等が書けるようになることを目指します。必要に応じて、「話す」「聞く」の活動も含まれます。

学習内容(予定)

新しい情報や知識を獲得するための読み方、理解して考えた内容をまとめて表現する書き方を学習します。具体的には、大学での豊かな学びに繋がることを期待し、以下の内容を扱います。

- 1) 目的に応じた読み、クリティカル・リーディング
説得力のある書き方、パラグラフ・ライティング
- 2) レポートや論文に相応しい文体
- 3) 情報収集や整理について
文献引用の仕方と文献リストの書き方
- 4) 体裁を整える
- 5) 推敲の重要性

教材

授業で配布、紹介します。

※参考書

『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』伊集院郁子・高野愛子著 アスク

成績評価

授業参加度 20%

課題 50%

最終課題 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。

アカデミック ジャパニーズ6	瀬戸 彩子	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日3限 (人数により月曜日2限のクラスを開講する)

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90分×週1回×15週)

授業概要

アカデミックジャパニーズ6では、国際的な問題について理解を深める中で、大学などで学ぶために必要な「言語知識」と「言語スキル」を伸ばしていきます。また、クラスメイトやさまざまな人たちと、お互いの背景を尊重しながら、意見や経験を共有しながら学びます。それにより、学んだ内容について深く考え、自分の考えを持つことができる思考力も養います。このように、この授業では世界の課題を「日本語で学ぶ」なかで、アカデミックな「日本語を学ぶ」ことを目標にしています。

学習内容(予定)

以下のテーマに沿って、それぞれについて調べたり書いたりする課題やプレゼンテーションなどの活動を行います。チームやペアでの活動が中心ですが、課題については個人で行うものもあります。

テーマ

- ・自分のことを知ろう
- ・貧困のメカニズムを知る
- ・情報を集め、人に伝える
- ・国際協力の活動について知る
- ・貧困を解決するために

- ・できることを考え、行動する。
- ・自分が学んだことを振り返ろう

教科書

『日本語×世界の課題を学ぶ 日本語でPEACE[Poverty 中上級]』 凡人社

成績評価

授業参加度 30%

課題 50%

最終課題 20%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

授業には、必ず自分のノートPCかタブレットなどのデバイスを持ってきてください。

アカデミック ジャパニーズ7	加藤 林太郎	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日3限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90分×週1回×15週)

授業概要

アカデミックジャパニーズ7では、時事的・専門的なトピックについて、考えながら、読み、話し、書くことを中心に学習します。テーマに合った資料を探し、それについて読んだり、議論したりしながら、大学・大学院で求められる論理的・批判的な思考力を身につけます。また、考えたことを発表したり、書いたりすることで、トピックやかつどうにふさわしい日本語能力の獲得も目指します。

学習内容(予定)

授業は次のような流れで進行します。

- ①テーマの確認と、資料検索
- ②グループディスカッション
- ③プレゼンテーションとディスカッション

※KUIS生をビジターとして招く予定です。

- ④レポート作成

教材

授業で配布、紹介します。また、毎時間ノートパソコンを持ってきてください。

成績評価

授業参加度 40%(出席率:10% 授業態度:10% 課題提出率:20%)

課題 60%(プレゼンテーション:30% レポート:30%)

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

語彙漢字1	李 榮	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		火曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90分×週1回×15週)

授業概要

語彙漢字では、語彙を増やし、言語運用能力を高めることを目指します。また、漢字に関する知識を体系的に学び、漢字語彙も増やします。

学習内容(予定)

初級レベル(日本語能力試験N5相当)の漢字160字ぐらいが読めて、使えるようになることを目標とします。教材の第1課～第10課を勉強します。

教科書

『KANJI LOOK AND LEARN』坂野永理・池田庸子・品川恭子・田嶋香織・渡嘉敷恭子著 ジャパンタイムズ

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 30%

課題 20%

定期テスト(中間・期末) 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。

語彙漢字2	若松 由美	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		火曜日3限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90分×週1回×15週)

授業概要

語彙漢字では、語彙を増やし、言語運用能力を高めることを目指します。また、漢字に関する知識を体系的に学び、漢字語彙も増やします。

学習内容(予定)

基礎的な漢字の読み書きを身につけます。また、部首や漢字の音符、意符の知識を増やします。N4～N5の語彙の定着も目指します。

教科書

『KANJI LOOK AND LEARN』坂野永理・池田庸子・品川恭子・田嶋香織・渡嘉敷恭子著 ジャパンタイムズ * 第11課～第20課を勉強します

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 30%

課題 20%

定期テスト(中間・期末) 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守る。遅れた場合は減点の対象となります。

授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。

語彙漢字3	安部 智恵子	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		水曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90分×週1回×15週)

授業概要

語彙漢字では、語彙を増やし、言語運用能力を高めることを目指します。また、漢字に関する知識を体系的に学び、漢字語彙も増やします。

学習内容(予定)

日本語能力試験N4・N3相当の漢字やことばの使い方を書く・読む・聞く・話す技能を使って練習します。

- ・見て書く練習 漢字の形に注目して書いて覚える
- ・聞いて書く練習 文脈から意味を推測し、漢字を書く
- ・読む練習 漢字で書かれた文を音読する
- ・使う練習 勉強した漢字やことばを使って文を書いたり、話をしたりする
- ・自分で勉強する ①自律的に漢字を予習・復習する
 ②生活の中でよく見る漢字を自分で調べて意味を知る。

教科書

『(新版) BASIC KANJI BOOK —基本漢字500— VOL.2』凡人社

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 30%

課題 30%

定期テスト 20%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

語彙漢字4	小林 久美子	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		水曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90分×週1回×15週)

授業概要

語彙漢字では、語彙を増やし、言語運用能力を高めることを目指します。また、漢字に関する知識を体系的に学び、漢字語彙も増やします。

学習内容(予定)

JLPTのN4～N3レベルの単語を理解したり、使えたりすることを目標にします。また語彙・漢字学習を一人でもできるようにする力をつけます。

教科書

『(新版) BASIC KANJI BOOK —基本漢字500— VOL.2』凡人社

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 20%

課題 30%

定期テスト(中間・期末テスト) 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守る。遅れた場合は減点の対象となります。

語彙漢字5	稲葉 和栄	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		火曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90分×週1回×15週)

授業概要

語彙漢字では、語彙を増やし、言語運用能力を高めることを目指します。また、漢字に関する知識を体系的に学び、漢字語彙も増やします。学習した語彙漢字を使って例文を作りながら用例を身につけていきます。

学習内容(予定)

次の3つを意識しながら、漢字や語彙の理解を深め、単語レベルではなく文レベルでの適切な使用ができる練習をおこなっていきます。教科書に沿って学習をすすめます。

- ①字形・意味・読み・用法といった漢字の特性を理解し、漢字や語彙の拡充をはかる。
- ②語彙や漢字の整理方法(字形・音・意味・用法)や学習ストラテジーに意識を向けられる。
- ③語彙・漢字のネットワークを構築し、未知語の推測がある程度できるようにする。

教科書

『INTERMEDIATE KANJI BOOK 漢字1000PLUS VOL.1』加納千恵子、清水百合など、凡人社

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 30%

課題 20%

定期テスト(中間・期末) 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

語彙漢字6	若松 由美	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		火曜日2限 (人数により火曜日1限のクラスを開講する)

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90分×週1回×15週)

授業概要

語彙漢字では、語彙を増やし、言語運用能力を高めることを目指します。また、漢字に関する知識を体系的に学び、漢字語彙も増やします。

学習内容(予定)

中上級レベルの漢字(N1～N2)を学習する。

【流れ】

- ①覚えましょう(基本的な読み方・意味・重要語彙)／おまけ(書き方)
- ②確認しましょう
- ③考えましょう(おもしろい読みや意味のことは、基本義と派生義、コロケーション、類義語の使い分け、生教材)
- ④おまけ

教科書

『上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙 超級編』ココ出版

成績評価

授業参加度 20%

課題 30%

クイズ 20%

定期テスト 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります

授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。

2023年度 神田外語大学留学生別科 科目概要 必修科目

2023年4月発行

編集・発行 神田外語大学留学生別科

〒261-0014 千葉県美浜区若葉1-4-1

無断転載を禁じます